

saveMLAK ニュースレター

第 66 号

第 22 回 図書館総合展 online 報告

今年の図書館総合展は web オンライン開催となりました。2020 年 11 月 4 日・5 日に開催されました saveMLAK のイベントを報告いたします。

<https://savemlak.jp/wiki/saveMLAK:Event/LibraryFair2020>

○第 1 回 11/4 (水) 14:00-

「むらっくくん誕生秘話」

図書館総合展での saveMLAK のオンラインイベント第 1 日目 (11/4) は、江草由佳さんと、わたなべゆきのさんのお二人が参加者の皆さんとお喋りするお茶会でした。

まず最初に江草さんから、これまでの活動や COVID-19 の影響による図書館休館動向の調査などについて紹介がありました。江草さんの「忘れない・忘れさせない」という言葉はとても印象的で、saveMLAK をこれまで知らなかった人々にも、私たちがおこなってきた／これからもおこなっていくように思っています。

そして、ゆきのさんから、これまで話される機会がほとんどなかった saveMLAK のキャラクターである「むらっくくん」の誕生秘話が語られました。ロゴの制作を引き受けられた時はちょうど、saveLibrary・saveMuseum・saveArchives がまとまって saveMLA となる頃で、久しぶりに見せていただいた saveMLA ロゴは懐かしかったですね。そこから、このロゴはほとんど使われることなく、す

ぐに公民館 (Kominkan) が加わった saveMLAK で出発するかたちになった話、saveMLAK ではロゴではなくキャラクターの創造へと変化していった経緯、初めて明かされるむらっくくんに至るまでのキャラクター達の紹介など、とてもわくわくする話題ばかりでした。saveMLAK のウェブサイトにも、むらっくくんの紹介ページがありますが、むらっくくん誕生までのページも欲しいなと思ってしまいました。

という訳で、江草さんとゆきのさんの話が面白すぎて、参加者していたみんなが聞き入ってしまい、お茶会どころではなくなりましたが、いつもの Meetup とも年次報告会とも違う、お祭りの心躍るオンラインイベントとなりました。

【あこたかゆき】



saveMLA ロゴ (渡辺ゆきの(kumori)さん提供)



saveMLAK ロゴ(saveMLAK ホームページより)



“どんなに大変な状況でも、目をこらせば、
きぼうの光は必ず見えてくる。”

saveMLAK コラボでぬぐい「きぼうの星」

(図書館総合展 カーリル HAPPYSHOP より)



Library of the Year 2020 にて ライブラリアンシップ賞を受賞しました

○第2回 11/5 (木) 19:00-

「saveMLAK について&saveMLAK の COVID-19 図書館動向調査について」

2020年11月5日(水)19:00~20:30に、図書館総合展での2回目のオンラインイベントを開催しました。イベントタイトルは「つながりは"しなやか"に saveMLAK のこれまでと、いまここと、これから」なのですが、登壇者(私です)が主に「いまここ」の話しかできないということで、「saveMLAK について&saveMLAK の COVID-19 図書館動向調査について」お話をさせていただきました。ご参加のみなさま、ありがとうございました。

緊張しすぎていて、参加者が19人いるところまでしかカウントしておりませんでした。30人近くの方が参加されていたような。お話自体は20分で終了、19:30にはオンライン飲み会につつがなく移行できました。オンライン飲み会では、大学図書館の動向も話題に上がり、国立大学図書館の動向調査をしていらっしゃる方との交流が進んでいて何よりでした。また、オンラインイベントは参加者同士のちょっとした立ち話というか、感想をシェアする時間というのが取りにくいところがありますが、初めてご参加の方のお声も聴けてうれしかったです。このイベントのスライドは4日のものとともに saveMLAK のウェブサイトで開催されていますので、よろしければご覧ください。

なお、同日13:00~の Library of the Year2020 最終選考会において、saveMLAK はライブラリアンシップ賞を受賞しました。受賞スピーチは動向調査に参加されていた小嶋智美さんにさせていただきました。最終選考会を見逃した方も、小嶋さんのスライドは必見です！

【子安伸枝】

NPO 法人 知的資源イニシアティブ(IRI) 様が主催されている「Library of the Year」(LoY) 去る9月2日に開催された LoY2020 二次選考会において、saveMLAK がライブラリアンシップ賞を受賞いたしました！

受賞理由として、まず第一に saveMLAK としての10年近くの活動継続を挙げていただきました。また本年における COVID-19 を受けての公共図書館、大学図書館、専門図書館等の休閉館状況の悉皆調査を継続的に実施している点や2011年の東日本大震災を受けての発足時に比べて担い手がより一層拡張している点、呼びかけ「災害への『しなやかな強さ』を持つ MLAK 機関をつくる」を発出する等、アドボカシーに注力している点などを評価いただいたこととです。加えて、この10年にわたって補助金や助成金に依存することなく、寄付と物販によって自主財源を確保して自立性の高い活動を継続している点も触れていただきました。

<https://www.iri-net.org/loy/loy2020-second-selection-result-reason/>

11/5 (木) 13時より行われた LoY2020 最終選考会にて、COVID-19 動向調査に参加されている小嶋智美さんに受賞スピーチをご担当いただきました。小嶋さんは今回の総合展でのイベントタイトル「つながりは"しなやか"に saveMLAK のこれまでと、いまここと、これから」もご提案いただいたのですが、スピーチの場においてもこれまで (saveMLAK 発足からの活動)、いまここ (本年度の活動において)、これから (継続していく活動) について、あたたかく力強く語っていただきました。表彰式のアーカイブ動画が YouTube にて公開されていますので、ぜひご覧ください。

https://www.youtube.com/watch?v=XCro_IWij2U

LoY2020 最終選考会 (小嶋さんのスピーチは1:17頃より)



COVID-19 調査について

10/7 (水)、公共図書館の動向調査 第 11 弾の調査結果が公表されました。10/1(木)から10/4(日)にかけて実施された調査において、ウェブサイトの公開情報を集約し全国の公共図書館・公民館図書室等、1721 館にわたって調査を行いました。

詳細はプレスリリースをご覧ください。

<https://savemlak.jp/wiki/saveMLAK:%E3%83%97%E3%83%AC%E3%82%B9/20201007>

また国立大学図書館調査も毎週末調査を継続しており、9/25(金)調査時点で開始時(2/28)以降初の休館数 0 館となりました。(以降も変動あり) その後も継続して調査を行っています。

『月刊社会教育』2020 年 11 月号にて saveMLAK covid-19 図書館調査にかかる取り組みについて、呉服淳二郎さん執筆によるコラム記事が掲載されました。

『専門図書館』2020 年 10 月号(301・302 合併号)にて森いづみさん、子安伸枝さんによる記事「ごぞんじですか？ saveMLAK と COVID-19：しなやかに動きつづけるプロジェクト」が掲載されました。

saveMLAK 会計

2020 年 9 月～11 月期 (合算) 会計報告

収入

受け取り利子	¥3
寄付預り金 (saveMLAK メンバーK 氏の原稿料分)	¥2400

支出

図書館総合展出展料	¥8250
振込手数料	¥220
2020 年 11 月 16 日現在残高	¥723,587

【糸野泰輔 / saveMLAK ファンド係】

2020 年 10 月～11 月の出来事と今後の予定

10 月 13 日

第 115 回 Meetup を開催

11 月 4 日

図書館総合展 online イベント第 1 回

11 月 5 日

図書館総合展 online イベント第 2 回

Library of the Year 授賞式

11 月 15 日

第 116 回 Meetup を開催

12 月 20 日

第 117 回 Meetup を開催予定

編集後記

今年の図書館総合展はオンライン開催という初めての事態で、どのように参加していくか、広報していくか、いろいろと話し合いが続きました。イベントにご登壇いただいた江草さん、渡辺さん、子安さん、また、LoY 受賞スピーチにご登壇いただいた小嶋さん、また図書館総合展の連絡役や Web ページを担当された市東さんほかご担当のみなさま、大変お疲れさまでした。

Library of the Year の受賞は実は 2012 年にも優秀賞をいただき、2 度目の受賞となります。受賞理由にもありましたが、活動が継続していること、拡がりをみせていること、自立性の高い活動ができていることは携わっていただいている皆様全員のおかげです。改めてお礼を申し上げますとともに、今後ともよろしく願いいたします。

【編集担当：箱田愛】

編集発行：saveMLAK プロジェクト
発行日：2020 年 11 月 23 日 (月) (第 66 号)
発行所：神奈川県横浜市中区相生町 3-61 泰生ビル
さくら WORKS<関内>407
アカデミック・リソース・ガイド株式会社内
saveMLAK プロジェクト
E-mail : pr@savemlak.jp
URL : <https://savemlak.jp/>

